

2017年9月1日

各 位

オリックス資源循環株式会社

上野原市と可燃ごみ処理に関する協定を締結

～クリーンセンターのトラブル発生時や災害時のバックアップ体制を構築～

オリックス資源循環株式会社（本社：埼玉県大里郡寄居町、社長：花井 薫一）は、山梨県上野原市（市長：江口 英雄）および高野産業株式会社（本社：山梨県韮崎市、社長：高野 実）との間で一般廃棄物の処分および収集運搬に関する協定を締結しましたので、お知らせします。

本協定は、上野原市が運営する「上野原市クリーンセンター」の修繕実施、停電、施設トラブル、施設の更新・休止や火災・自然災害の発生により家庭ごみなどの一般廃棄物を処理することが困難な場合に、オリックス資源循環が運営する施設で廃棄物を迅速かつ的確に処理するバックアップ体制を構築するものです。廃棄物の運搬(*1)は高野産業が担い、同社と連携して運搬から処理までの一連のフローを提供します。

オリックス資源循環は、埼玉県寄居町において廃棄物高度処理施設（ゼロエミッション施設(*2)）を埼玉県のPFI事業として運営しています。焼却灰が一切発生しない最先端の熱分解ガス化改質方式を採用しており、廃棄物を約2000℃で熔融して完全に再資源化できることが特長です。再資源化物質としてスラグやメタルなどを回収するほか、精製合成ガスを敷地内の発電施設で高効率発電の燃料として利用しています。処理能力は、民間施設として国内最大級の日量450トンで、工場や事業所から排出される産業廃棄物に加え、埼玉県内および近隣の市町村から一般廃棄物を受け入れています。

本協定を通じて、稼働約20年を経過する上野原市クリーンセンターの老朽化に伴う上野原市の課題の解決に貢献するとともに、市民生活に不可欠な社会インフラの持続可能な廃棄物処理システム構築に寄与してまいります。

(*1)必要に応じて前処理も実施

(*2)廃棄物を原材料などにすべて有効活用することで、不要な排出物を一切出さないこと。

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

オリックス株式会社 グループ広報部 橋本・松村・奥田 TEL:03-3435-3167